

令和2年度  
事業報告書

---

## ◆令和2年度法人方針と活動状況について

### ◎はじめに・・・

令和2年「新型コロナウイルス感染症」が全世界に蔓延し、令和3年5月26日現在、全世界で感染者が1億6757万人、死者は347万人を超えました。令和3年に入り日本においてもワクチンが供給され接種が始まっておりますが、副反応の問題、打ち手不足の問題、供給量など多くの問題を抱える中、高齢者の接種は7月末までに終える計画となっております。国産ワクチンの供給を含め、早期に経済及び生活が改善されることを願います。

障がい者福祉において、令和3年度は報酬改定が行われました。主な内容として障がい者の重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援、相談支援の質の向上、効果的な就労支援、医療的ケア児への支援などの障がい児支援の推進、感染症等への対応力の強化などの課題に対応することが掲げられ、改定率+0.56%となる改定となりました。

以和貴会においてゆらくの里の改築工事を実施中ではありますが、新館ができあがった後も、旧館の修繕計画も必要となってくること、児童課、共同生活援助、就労事業など需要に合わせ事業の見直し（拡大）を行う等、現時点において資金と人材が不足しております。

最初に令和3年度予算として、各事業において最大限の収入を得ることができるように予算を作成し資金力アップを図り、過去最大の事業活動収支差額164,004,800円（令和2年度実績比219.0%）を予定しております。根拠なき予算ではなく、大きな変革ではありますが、職員一丸となり取り組む結果となります。また並行して、人材（確保及び育成）関係や事業活動の見直しなども進めていきます。ご利用者支援の向上、職員の働く環境等の改善を行ない、「選ばれる法人」を目指します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、施設内外の行事をはじめ、すべての活動において制限がありました。その状況において、ご利用者に不便をかけない「新しいスタイル」を考え活動していけるように取り組みしていかなければなりません。

# 「変化」と「考働」

## 法人方針に対する各事業の目標設定と活動結果報告

### 1. 各事業 令和2年度取組み報告

#### □ゆらくの里拠点

新型コロナウイルス感染症の流行により、2020年3月下旬から6月末まで、入所・入居の方の通所利用、帰省、外出、面会及び地域の方の短期入所、日中一時支援事業の受入れを中止し施設内にクラスターが発生しないように注意を払い運営してきました。特に職員に対しては、厳格な体調管理基準を設け、館内の消毒のチェックリストを作り、現在も継続実施を行っております。

新型コロナウイルス感染症の感染者数に落ち着きが見られた為、7月からはヘルパー業務を含めたサービス全般を再開しました。途中、第2波といわれ感染者数の増加もありましたが、これまで以上に感染予防に心掛けサービスを実施することで、本日現在、ご利用者に1名も感染者を出すことなく運営することができました。その後夏過ぎまで短期入所等の利用は、例年の利用率と比べなかなか回復しませんでした。また、9月からはゆらくの里の改築工事の始まるタイミングをもって日中一時支援事業を終了しました。

改築工事が始まった9月以降は、感染予防を継続的に行いながら利用率向上に努め、新規の受入れや風鈴山荘の短期入所の受入れを積極的に実施した結果、令和元年度と比べ162%の収支差額を残すことが出来ました。

また職員に対しては、行動援護従事者研修を受講させ重度支援加算の取得率向上とご利用者本位の支援を心掛けるように権利擁護の取組みを実施してきました。

## □今人拠点

### ▶新規ご利用者の獲得

通所支援課各事業所の利用定員 100%以上を目標に新規ご利用者獲得に向けた取り組みを実施してきました。結果、令和2年度中にワークサポートセンター今人で2名、我楽で3名、すみれの里で1名の計6名と契約することができました。新規ご利用者が早期に事業所利用に慣れ、有意義な活動が行なえるように支援体制を構築しております。なお、すみれの里の就労継続支援B型以外は、利用定員100%以上の契約者数を確保できておりますが、利用希望されるご利用者の獲得を積極的に継続して行なっております。

### ▶専門性の向上

コロナ禍ということもあり、全職員が一斉に集まり研修することはリスクを伴うため実施しておりませんが、Web 学習教材による研修を支援会議等で実施するなど、積極的に専門性の向上に努めてきました。また、8月には接遇マナー権利擁護研修を開催し、接遇マナーの向上と虐待防止について考える機会を持ち、日々の支援業務で実践しつつ、意識の向上を図っております。

### ▶ワークサポートセンター今人

新規利用者の獲得や利用率の向上に向け強み（セールスポイント）を創るために、活動の充実の他に今人の移転や活動編成の見直しについての検討を行ってまいりました。事業所移転については、ハウスメーカーに建て貸し方式による物件の紹介もこれまでにありましたが、土地の広さ等の条件面で折り合いがつかなかったことで継続検討中であります。活動再編にあたっては、内職班の活動を見直し、法人の農福連携活動への参加や臨時作業として広告チラシの折り込みやポスティング作業などを実施してきました。令和3年度は、今人全体の活動のあり方を考え、魅力ある事業所として、またご利用者がやりがいや働きがいを感じられるような支援を提供していくための検討を実施して行きます。

### ▶我楽（GALA）

#### ○生活介護「さぼーと」

支援技術の向上や ICT 活用のための研修受講や強度行動障害者への支援に特化した事業所との連携を図っていくことを目標に取り組みました。新型コロナウイルス感染予防対策で対外的な活動が難しい時期でもありましたが、北摂杉の子会様への視察研修や Web での支援技法学習教材などを活用し、ご利用者に活動や生活の仕組みをわかりやすく伝えることでストレスや混乱を減らし、問題行動を軽減させてい

けるような支援体制を整えてきました。令和3年度は、特別支援学校でのICTに関する学習指導を学ぶ機会をつくるなどの取り組みを検討しております。

#### ○就労継続支援B型「モンステラ」

ご利用者が主体的にできる仕事を増やし、やりがいや働きがいを感じて頂けるような支援を提供することを目標に日々の活動を行ってきました。カフェ部門では、ホールとパン工房の仕事を提供、菓子製造部門では、ご利用者がすべての工程に携われるお菓子を考案し取り組んでいただきました。やりがいや働きがいを感じて頂くため、職場においてのご利用者同士の間関係の構築に関し活動を通じて支援し、ご利用者個々の能力に合わせた作業を提供することで、作業が出来るようになった時の達成感を感じて頂けるような関わりを実施してきました。

#### ▶すみれの里

令和2年度も香芝市ボランティアセンターとの連携を図り、5つのボランティア団体と協力しご利用者の活動にお力添えを頂くことができました。新型コロナウイルス感染症の影響で一時は活動を自粛されるなどもありましたが、新しい生活様式に則した感染予防対策を行い、ボランティア活動を以前のとおり実施して頂けるようになりました。今後も活動を通じてご利用者と地域住民の方の交流を図ってまいります。また令和元年度に実施しました香芝市内の小中学校との交流も児童の生涯学習として再開して行きたいと考えております。

日々の活動としては、リハビリ運動活動を取り入れており、ご利用者への健康管理支援の充実を図るため、関西福祉科学大学が主催する研修の受講やご利用者が施術を受けている理学療法士に相談を行うなど活動メニューを増やしてご利用者個々の状態にあった活動も実施してきました。

#### □地域拠点

##### ▶ゆらくの里放課後デイ

ゆらくの里改修工事に伴い、4月よりボノボビル4階に移動して活動を継続してきました。活動場所の移動は、HUG・LIVEと協力体制が取りやすくなったことで、これまで送迎が困難なために利用受け入れが行えなかった児童との契約ができ、利用率向上に繋げることができました。今後も香芝市内の地域小中学校及び西和養護学校に通う児童だけでなく、利用を希望される広陵町・上牧町・王寺町の地域小中学校に通われる児童の受け入れも進めていきます。小中高生が通う事業所として、小学生は学習や勉強を主体に支援しており、中高生に関しては就労を視野に入れた作業課題及び自立課題に取り組むことを支援しております。

## ▶HUG・LIVE

ゆらくの里デイと協力体制をもって効率的な送迎を実施することができました。活動は、年齢に応じた余暇支援活動の充実を図るため、休日開所として、小学生は調理活動や身体を動かす活動を実施、中高生は卒業後の余暇の拡大を目指し、季節に応じた外出活動やタブレット等の活用について学ぶ機会を提供してきました。

児童部門では、コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や活動休止の影響を受けることが多くありましたが、マスクの着用練習や手洗い・うがいの支援など、社会に出た際にも必要となるスキル獲得のための訓練を取り入れ、日々の活動が充実するように心がけております。

## ▶相談支援事業

コロナ禍の影響を受け4月～7月においてご利用者との面談及びご利用者が利用されている各事業所への訪問等、業務に関わる行動が著しく制限された事で、1名増員したことによる人件費をカバーすることはできませんでしたが、「目標を個別設定し、個々の業務量を必ず達成する事」と「できる限り無駄のない行動がとれるように全員の調整を行う事」により職員の意識の改善を図りました。意識改善により、相談支援業務を通じて福祉事業所や放課後等デイサービスのご利用を検討されておられるご家族に対して法人内の事業所と利用契約までつなげることができました。コロナ禍により活動に制限があった為に地域における情報収集という業務に関しては不足していたことは反省すべきこととして新年度に受け継いでまいります。

## ▶共同生活援助事業（グループホームのあ）

○個別支援計画を重要視し、個々のQOL向上とプライバシー管理をもとに、個々にやりたい事などを中心に、グループホームで生活して頂いていることの満足度UPに繋がる様に支援を行ってまいりました。

- ① 「おしゃれをしてカフェで食事をしたい」「蟹を食べに行きたい」「女性として綺麗でいたい」「バーベキューで好きな牡蠣やエビを食べたい」  
⇒週末にホームヘルプサービス等を利用し外出。またグループホーム職員と一緒に実現。
- ② プロ野球を観戦したい  
⇒グループホーム職員と京セラドームのナイター阪神×広島戦を観戦。
- ③ 美容室で綺麗になりたい  
⇒理髪店ではなく美容室でシャンプー（ヘッドスパ）・カットをしてもらい女性として当たり前の時間を過ごして頂く。
- ④ 英会話を習いたい（ボランティア採用）

⇒日曜日に仲間と楽しく英会話を通じてお互いの魅力を確認め合う

⑤ 仲間とボードゲームをしたい

⇒オセロ・トランプ・バックギャモン等、休日に仲間や職員と楽しむ。

⑥ 川遊びをしたい

⇒数人の仲間と宇陀方面の綺麗な川で川遊びをする。

○各ご利用者の健康状態等の情報の共有を強化して、スタッフ間のコミュニケーションの機会を多く創り出し、支援方法の統一化と支援技術向上の機会にも繋げることができました。(看護師、栄養士とも連携し各利用者の健康維持の為の知識を取得し、食事内容、提供方法を変更)

○入居者の高齢化・重度化に対応したグループホーム創設の検討も行い、相談支援事業所・不動産業者等からの情報を整理し、令和3年度には具体化した計画案の作成を行い、「安心・安全・快適」で地域のニーズにも応えていける様なグループホーム創設を目指して準備を進めています。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員 60名

	R02.4.1	増加	減少	R02.3.31	平均年齢	平均年数
男	34	5	1	38	48.8	17.8
女	18	0	1	17	54.1	22.8
計	52	5	2	55	50.4	19.4

※1名が自宅、1名が死亡による減少。4名が新規、1名がグループホームからの異動により入所されました。

ゆらくの里（生活介護事業） 定員 60名

	R02.4.1	増加	減少	R02.3.31	平均年齢	平均年数
男	49	5	1	53	48.3	18.4
女	19	0	1	18	52.5	21.6
計	68	5	2	71	49.3	19.2

風鈴山荘（共同生活援助） 定員 14名

	R02.4.1	増加	減少	R02.3.31	平均年齢	平均年数
男	13	1	1	13	48.0	22.5
女	0	0	0	0	—	—
計	13	1	1	13	48.0	22.5

※平均年数は、ゆらくの里の入所と通算で記載

② 今人

事業名	定員	H30年度 利用率	R01年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
就労継続B型	10	79.4	78.9	2442	94.7
生活介護事業	20	76.3	76.7	3825	74.1

我楽

事業名	定員	H30年度 利用率	R01年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	98.6	97.7	5148	99.8
就労継続B型	10	108.6	100.5	2587	99.9

※平成30年6月より定員を15名⇒20名に変更

※平成30年度よりA型を廃止し、A型の活動は、すみれの里のB型へ吸収

すみれの里

事業名	定員	H30年度 利用率	R01年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	80.6	84.9	3607	70.2
就労継続B型	10	80.0	62.9	1771	68.6

※平成30年度より我楽A型の活動（食堂運営）はB型事業に吸収して運営



③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	H30年度 利用率	R01年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	79.7	81.8	1906	74.2
はぐらいぶ	20	84.7	87.2	4355	84.7

のあ

事業名	定員	H30年度 利用率	R01年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
共同生活援助	12	81.9	98.6	4342	99.1

○利用契約者数

ゆらくの里の入所をはじめ、定員に満たない事業所が沢山ありました。良い支援を行うためには、利用率を上げ高い水準で収入を確保することから始める必要があることを意識し、ご利用者の充足を図りました。充足が図れたことで、職員の適切な配置と支援の充実を進めていきます。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和2年4月1日	令和3年3月31日		
就労定着支援		2	2	→	—
就労継続B型	10	9	11	↑	1.10
生活介護事業	20	16	19	↑	0.95

我楽

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和2年4月1日	令和3年3月31日		
生活介護事業	20	23	24	↑	1.20
就労継続B型	10	12	12	→	1.20

※平成30年6月より、生活介護の定員を15名 ⇒ 20名に変更

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和2年4月1日	令和3年3月31日		
生活介護事業	20	21	19	↓	0.95
就労継続B型	10	7	8	↑	0.80

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和2年4月1日	令和3年3月31日		
ゆらくの里デイ	10	25	36	↑	3.60
はぐらいぶ	20	60	71	↑	3.55

③ 短期入所

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		令和2年4月1日	令和3年3月31日		
ゆらくの里 短期入所	10	67	48	↓	4.80
風鈴山荘 短期入所	4	—	12	↑	3.00

□令和2年度職員状況について

令和2年度は法人全体として、正職員・非正規職員ともに増加しました。ご利用者の増加、充実した支援の実施につなげるため、これからも適正配置を意識した雇用を継続していきます。

採用は、新卒1名のみでありましたが、中途採用4名（1名は間接職員）を採用しました。ゆらくの里の改築工事後、大きく活動の変革を行なうため、今後も職員採用を進めていく予定であります。（令和3年4月採用の新卒者は2名）

また以和貴会の改革として、職員への福利厚生を厚くし、既存職員をはじめ新規採用の職員獲得にもつながるように福利厚生倶楽部への加入を令和3年度より実施しております。

事業名	R2. 3. 31						R3. 3. 31						
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
<b>ゆらくの里</b>													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		8.7	7.8	8.3	39.4	42.1	40.6
正職員	13	15	28	15	14	29	29.0						
パート職員	6	9	15	9	12	21	13.9						
計	21	24	45	26	26	52	42.9						
<b>今人</b>													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		10.5	5.2	8.7	39.4	38.7	39.2
正職員	3	2	5	3	2	5	5.0						
パート職員	1	6	7	1	6	7	3.3						
計	5	8	13	5	8	13	8.3						
<b>我楽</b>													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		6.2	9.4	7.3	46.1	47.4	46.5
正職員	7	3	10	3	2	5	5.0						
パート職員	2	16	18	2	16	18	10.2						
計	10	19	29	6	18	24	15.2						

事業名	R2. 3. 31			R3. 3. 31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
<b>すみれの里</b>														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		7.8	9.4	8.6	39.7	38.8	39.3	
正職員	3	2	5	2	3	5	5.0							
パート職員	2	15	17	3	13	16	7.8							
計	6	17	23	6	16	22	12.8							
<b>ゆらくの里デイ</b>														
児童発達支援管理責任者	0	1	1	0	1	1		4.0	3.8	3.8	26.7	25.3	25.6	
正職員	1	2	3	1	2	3	3.0							
パート職員	1	0	1	1	0	1	0.7							
計	2	3	5	2	3	5	3.7							
<b>はぐ・らいぶ</b>														
児童発達支援管理責任者	2	0	2	2	0	2		11.5	4.2	6.6	47.1	27.4	34.0	
正職員	0	4	4	0	4	4	4.0							
パート職員	1	2	3	3	2	5	2.3							
計	3	6	9	5	6	11	6.3							
<b>しえ〜く</b>														
正職員	0	2	2	1	2	3		2.1	3.7	3.2	42.9	38.9	40.2	
パート職員	0	1	1	0	1	1								
計	0	3	3	1	3	4								
<b>事業企画推進室</b>														
正職員	2	0	2	2	0	2		14.5	—	14.5	40.1	—	40.1	
パート職員	—	—	—	—	—	—								
計	2	0	2	2	0	2								
<b>のあ</b>														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		5.9	14.0	10.0	46.9	55.9	51.4	
正職員	0	1	1	0	1	1	1.0							
パート職員	1	7	8	1	10	11	2.9							
計	2	8	10	2	11	13	3.9							
<b>そーる</b>														
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1		10.0	12.5	11.3	47.2	54.2	50.7	
正職員	—	—	—	0	1	1								
パート職員（登録）	1	3	4	0	3	3								
計	2	3	5	1	4	5								
<b>管理・厨房</b>														
正職員	5	4	9	6	4	10		8.4	12.0	9.8	46.6	49.5	47.7	
パート職員	3	7	10	2	10	12								
計	8	11	19	8	14	22								
<b>合計</b>														
サービス管理責任者	9	1	10	9	1	10		8.6	7.7	8.2	41.2	40.2	41.0	
正職員	34	35	69	33	35	68								
パート職員	18	66	84	21	74	95								
計	61	102	163	63	110	173								

※看護師はゆらくの里に含み、アルバイト職員は含んでいない。

※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の令和3年3月支給の給与期間により算出しているため、あくまで参考である。（常勤の月勤務時間数を150時間で計算）

※合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む。

※そーるのパートは、法人外の雇用ヘルパーのみ記載し、職員の兼務者は含まない。

## □令和2年度残業について

平成31年4月1日からの「働き方改革」への対応として、無駄な残業はなくなってきました。しかし、残業をなくすためのルールを設けたことによる弊害として「打刻の調整（退勤後の勤務など）」があり、申請残業時間の減少に過ぎず、実質の見直しを行なっていかなければなりません。

〔時間〕

単位：時間

拠点	H30年度	R01年度	R02年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	7273.50	3228.25	46	2729.50	△15.4%	5.16
今人	2253.75	1326.75	11	661.25	△50.1%	5.00
地域	3039.00	2449.25	17	2358.25	△3.7%	12.33
計	12566.25	7004.25	74	5749.00	△17.9%	6.75

〔金額〕

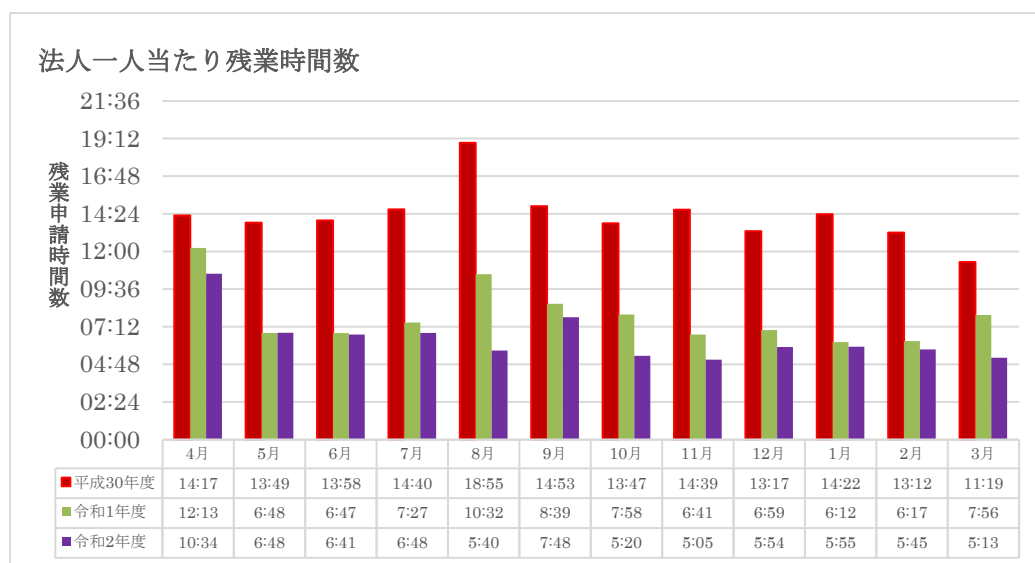
単位：千円(1人当たりは円)

拠点	H30年度	R01年度	R02年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	12,882	5,785	46	4,990	△13.7%	9,470
今人	3,936	2,389	11	1,209	△49.4%	9,162
地域	4,841	3,980	17	4,066	+2.2%	21,292
計	21,660	12,155	74	10,266	△15.5%	12,079

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※集計は申請分のみ

※職員数（人）は、時間外を申請した職員数（途中退職者含む）で、管理者は除く。



## □令和2年度有給休暇取得について

「時間外労働」同様、平成31年4月より、「働き方改革」の一環として、年間10日以上の有給休暇が支給されている職員（パート含む）は、年5日の有給休暇を取得しなければならなくなりました。5日取得が義務化されたことで、未取得者はいなくなり取得率は増加しました。一方でパート職員が増加傾向にある中、有給休暇の取得による人件費増は、微増であるものの増加する要因となっていくこととなります。なお、事業形態により取得率に偏りがあるため、どの事業においても同等に取得できる工夫（人員配置等）が必要であります。

拠点	H30年度	R01年度	R02年度			
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数	未取得者数
ゆらくの里	116.5	385.0	47	334.5	7.12	0
今人	74.5	130.0	12	131.5	10.96	0
地域	54.0	164.5	22	182.5	8.30	0
計	245.0	679.5	81	648.5	8.01	0

※資料は、退職者を含む同期間の職員全員を対象とする。

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※各事業の管理者を含む。

## □令和2年度事業活動収入対人件費比率について

令和2年度人件費総額は、前期比103.2%（16,936,850円）増の542,188,963円となりました。職員の増加、特定処遇改善加算の支給など増加要因がありました。しかし、収入も増加させることができましたので、対収入人件費率は、67.7%と前期率と比べ1.6%増に抑えることができました。今後「人材」は法人にとって、貴重な「財」となり、人件費も上がっていくことは予想されますが、収入を増やすことで、人件費への負担を軽減していきます。なお、令和3年度の予算における人件費は、564,276,600円と令和2年度実績比、104.0%（22,087,637円）増を見込んでおりますが、対収入人件費率は、61.6%と▲6.1%になる予定であります。

### 《ゆらくの里拠点》

収入増、人件費減により人件費率は減少しました。令和3年度、人員配置も多いため人件費は約16,000,000円増加予定であります。収入増も計画しているため、人件費率62.6%と令和2年度と比べ0.4%増にとどまる予定です。

### 《今人拠点》

人件費率は、77.6%と令和元年度と比べ10.6%増加しました。しかし金額としては1,351,108円の増加に過ぎず、収入が約19,000,000円減少したことにあります。令和3年度の収入予算は、令和2年度比122.5%を計画しており、人件費率も59.1%と大

幅な改善となる予定です。

《地域拠点》

地域事業においても人件費率は、令和元年度と比べ7.8%増の72.0%と大幅に増加しました。今人拠点とは違い、令和元年度と同等の収入を確保できた反面、人件費が約17,700,000円増加したところに要因があります。

[比率]

拠点	H30年度	R01年度	R02年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	66.9%	66.3%	<b>62.2%</b>	<b>△4.1%</b>
今人	81.7%	67.0%	<b>77.6%</b>	<b>+10.6%</b>
地域	81.4%	64.2%	<b>72.0%</b>	<b>+7.8%</b>
計	73.1%	66.1%	<b>67.7%</b>	<b>+1.6%</b>

※分母の収入には就労収入を含んでおります。就労収入を差引くと法人全体で70.5%（前期比+0.5%）となります。

[金額]

単位：千円

拠点	H30年度	R01年度	R02年度		
			人件費	前年度比較	増減率
ゆらくの里	279,914	277,083	<b>274,917</b>	<b>△2,165</b>	<b>99.2%</b>
今人	98,798	102,206	<b>103,557</b>	<b>+1,351</b>	<b>101.3%</b>
地域	150,057	145,962	<b>163,713</b>	<b>+17,751</b>	<b>112.1%</b>
計	528,770	525,252	<b>542,188</b>	<b>+16,936</b>	<b>103.2%</b>

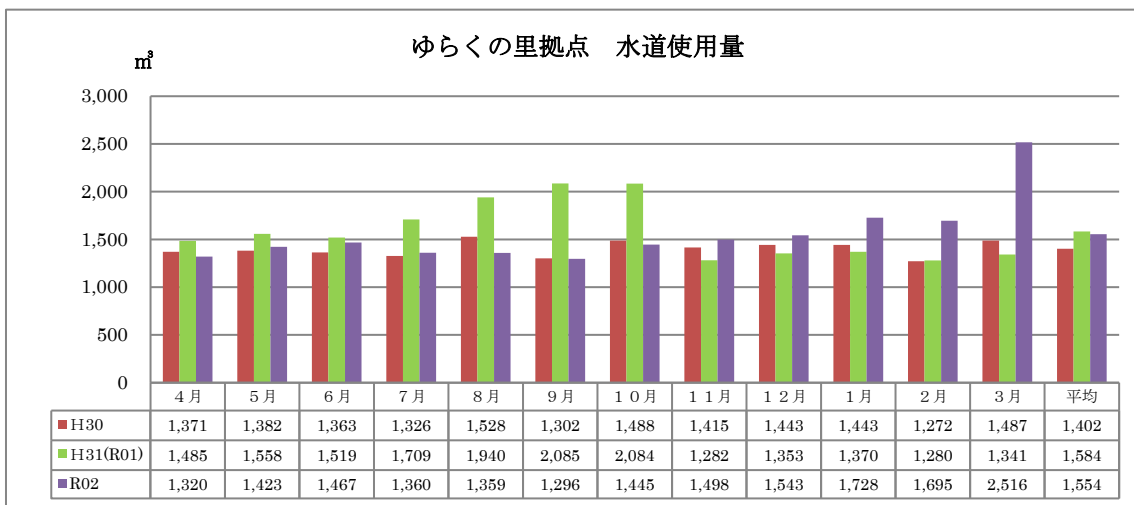
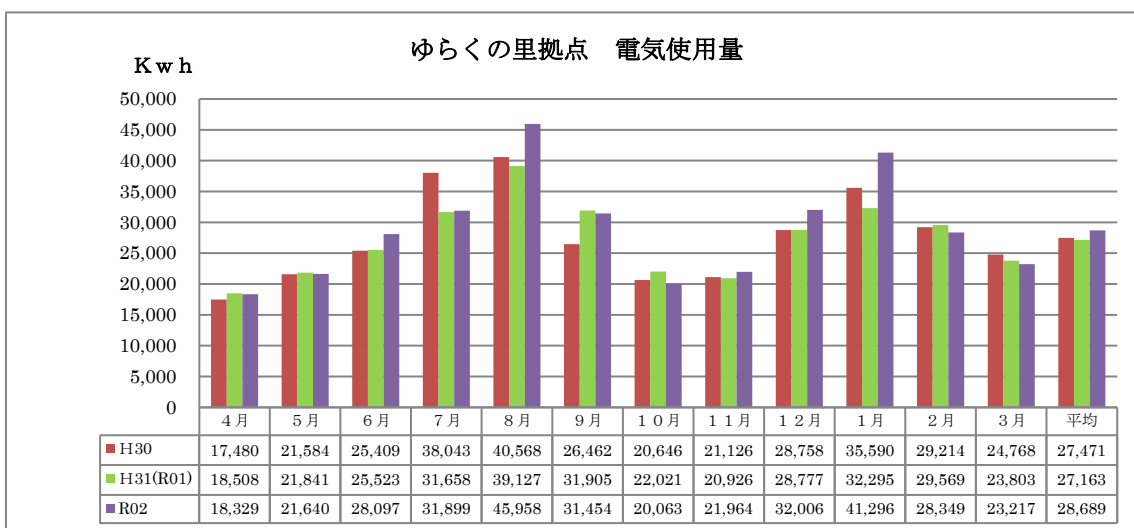
## □令和2年度上期光熱水費について

### ① ゆらくの里拠点

ゆらくの里では、環境班を中心に光熱水費のムダを減らすための取り組みを続けております。使用していない部屋の電気やエアコンの確認、無駄な水の使用をなくすように留意しております。令和元年度に漏水があり水道量が増加しましたが、令和2年度も漏水が発覚。しかし漏水箇所がわからず令和3年5月に場所の確定ができ修繕することができました。

	令和元年度	令和2年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	6,004 千円	<b>66,136 千円</b>	105.6%	102.2%
水道	5,764 千円	<b>5,631 千円</b>	98.1%	97.7%

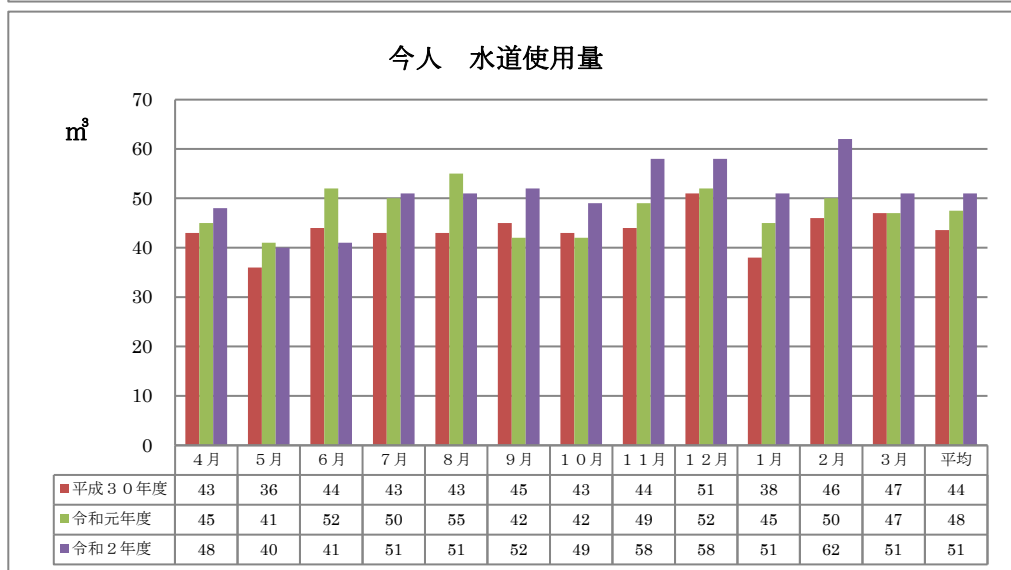
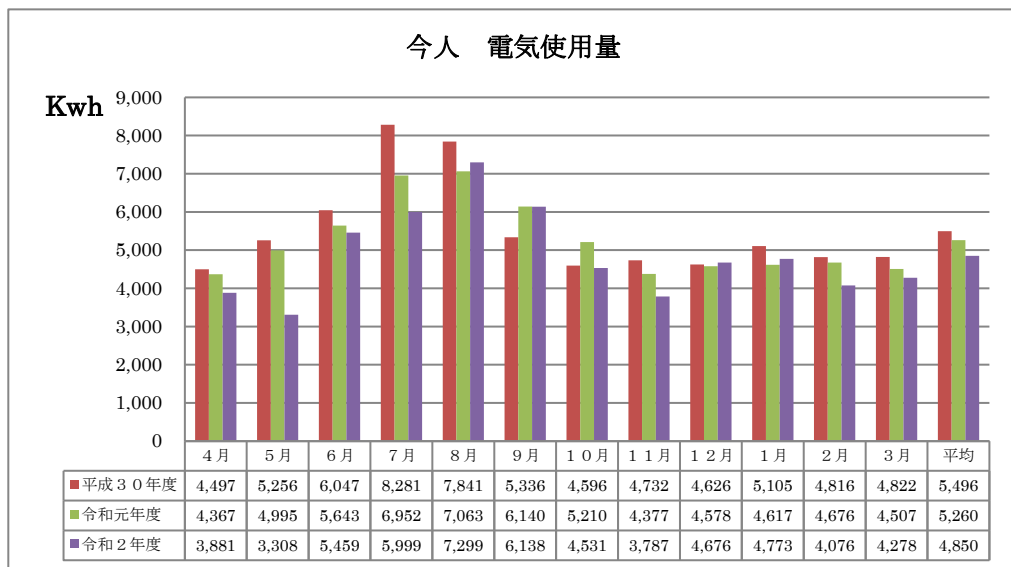
※上記数字は、ゆらくの里拠点で使用している実金額を表記しております。しかし、会計上の金額には、他拠点の按分負担分等も付加されているため金額が一致しません。



② 今人拠点（今泉）

電気は、2年続けて使用量の改善が見られます。その反面、水道使用量は、2年続けて1割を超える増加となりました。就労活動としてパンの製造を行なっておりますが、売上の減少（令和元年度比約70%）に反比例した結果となりました。新型コロナウイルス感染症による手洗い数の増加が要因として考えられます。

	令和元年度	令和2年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,204 千円	<b>1,094 千円</b>	92.2%	90.9%
水道	125 千円	<b>136 千円</b>	108.5%	107.4%

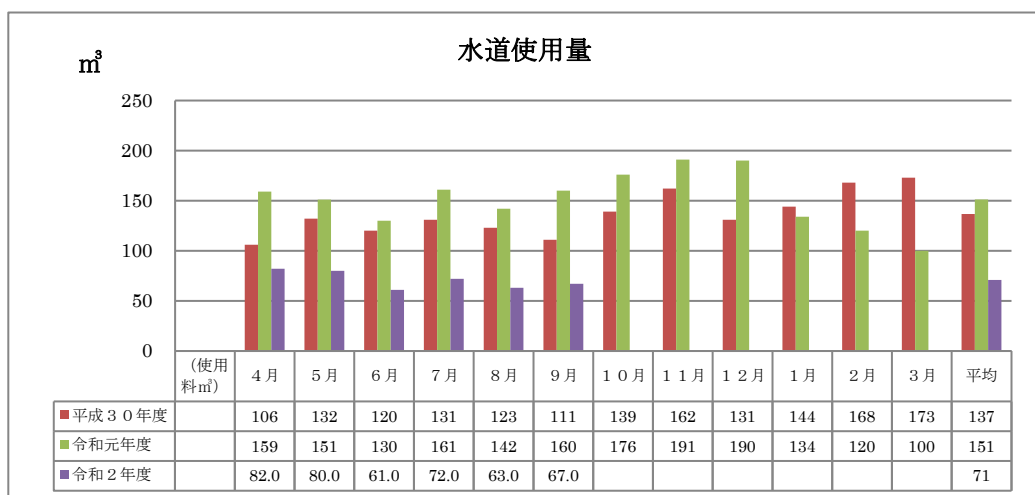
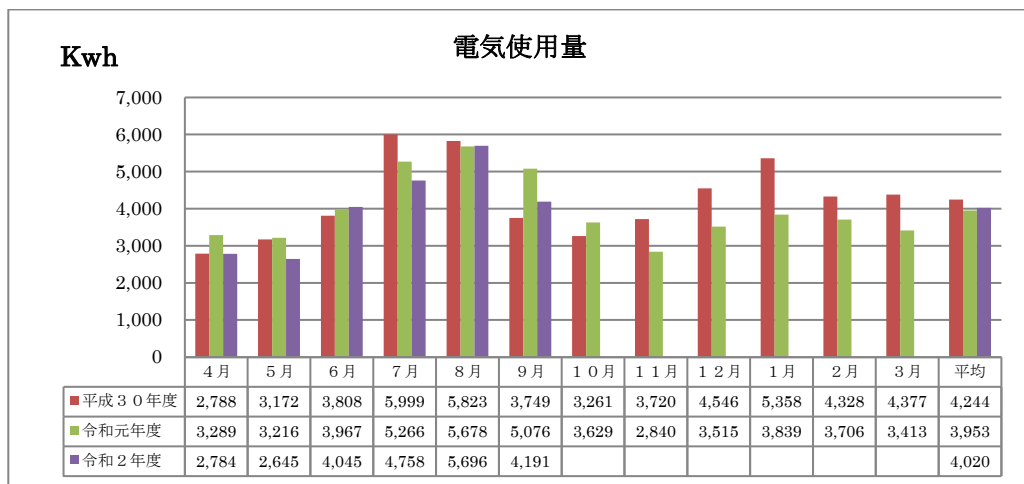




③ そら（福祉センター内）

令和2年上期は、水道電気共に令和元年度比を下回る使用となりました。下期に入り福祉センター改修工事に伴い営業場所が移動し、同場所の光熱水費は、実使用量ではなく、収入に対する割合で支払うこととなり計算ができなくなりました。

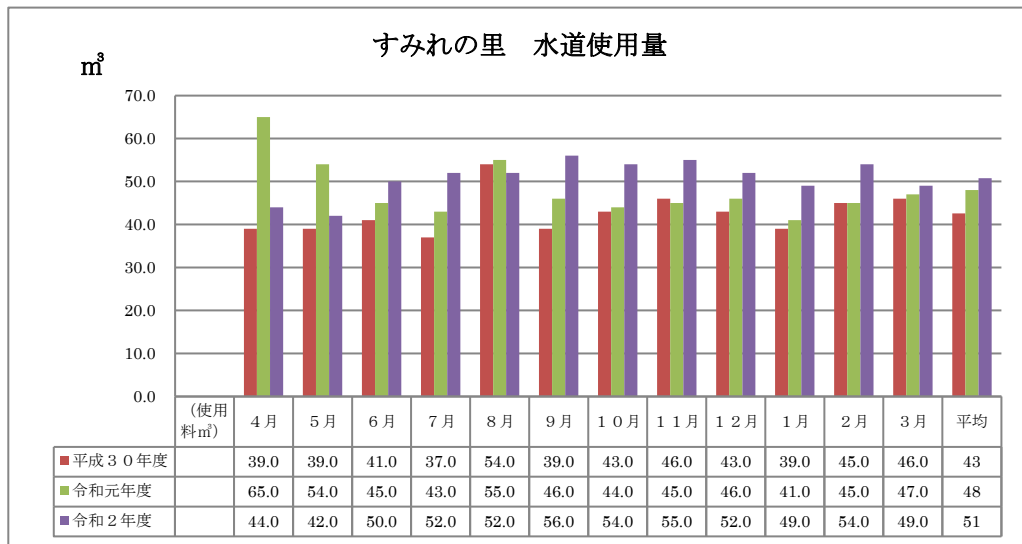
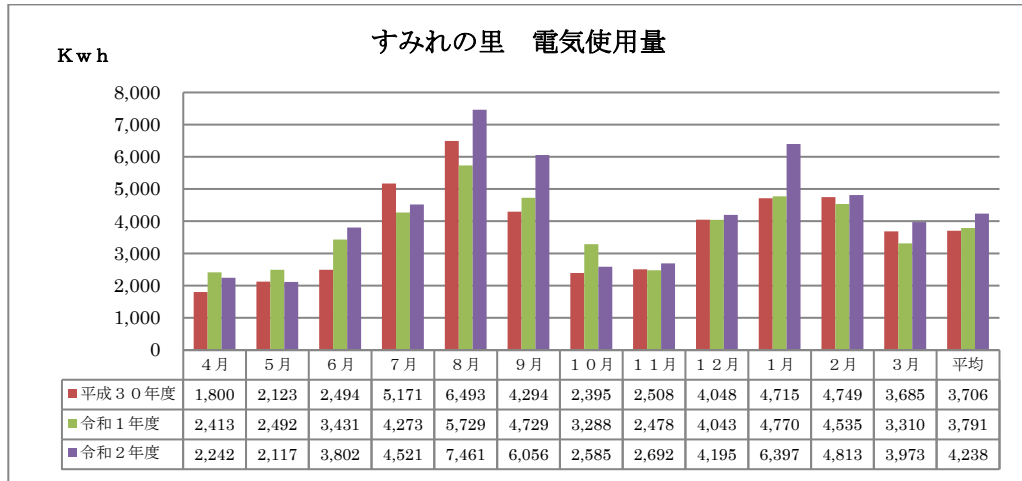
	令和元年度	令和2年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	726 千円	367 千円	50.8%	50.5%
水道	750 千円	177 千円	47.1%	23.7%



④ すみれの里

電気、水道ともに増加傾向にあります。エアコン温度の極端な設定、過去に切り忘れなど使用方法に問題があったことが報告されております。基準設定（マニュアル化）などを行なう必要があります。

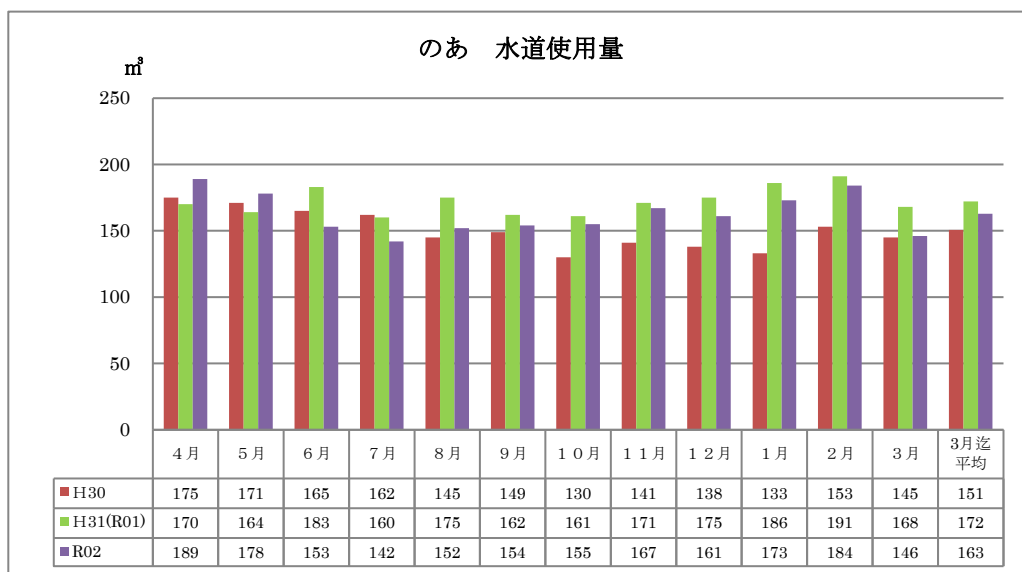
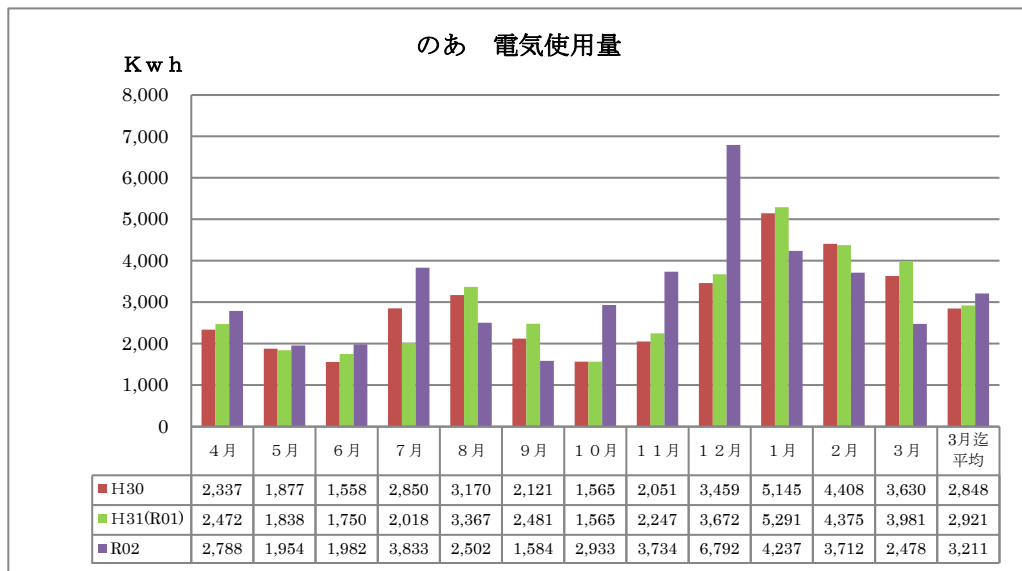
	令和元年度	令和2年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,298 千円	<b>1,339 千円</b>	111.8%	103.1%
水道	219 千円	<b>216 千円</b>	105.7%	98.9%



⑤ のあ（穴虫 グループホーム）

電気は前年度より若干の増加傾向にあります。定員が満床となり、ご利用者が増加していることを考慮すれば、ムダをなくし節約できているものと考えられます。設備が古くなっている現状、今後機器の入れ替えなど購入費が増加することとなりますが、電気代などを更に下げることが可能となっていきます。

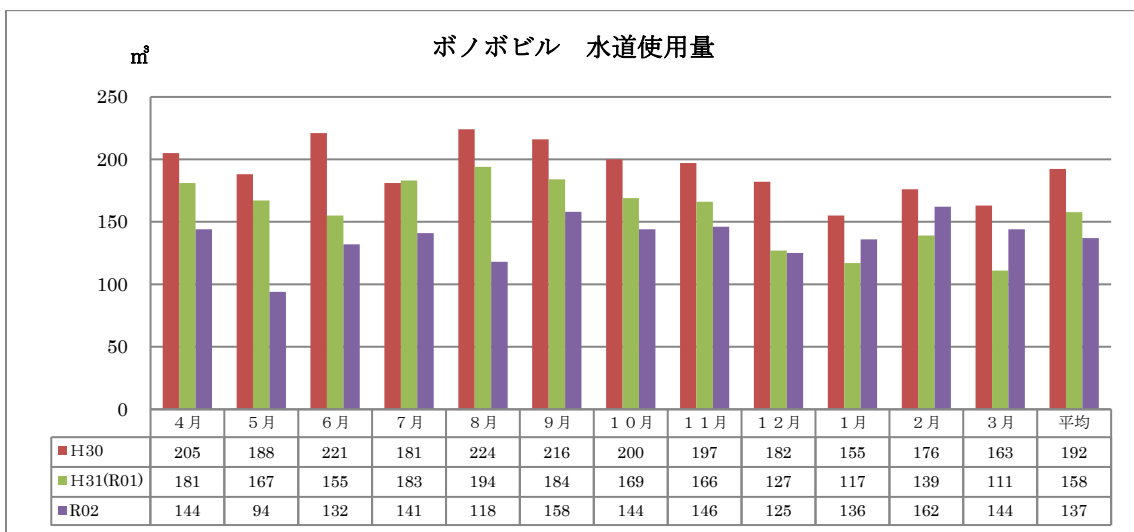
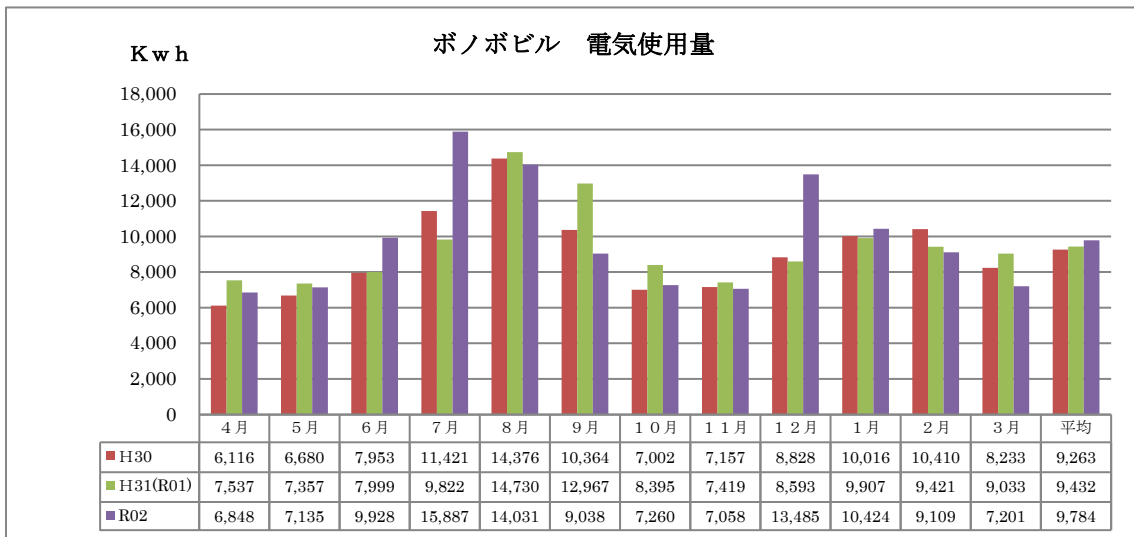
	令和元年度	令和2年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	853 千円	<b>905 千円</b>	109.9%	106.2%
水道	344 千円	<b>294 千円</b>	94.6%	85.5%



⑥ ボノボビル（磯壁 地域拠点）

電気代は、ビルを使用する職員及びご利用者数が増加していることも要因となっております。お店（カフェ）の運営、工房での製造などもあり、大きく変動します。延べ面積が広いだけに、無駄のないように意識していただく必要があります。なお、水道使用量はコロナにより入所ご利用者の日中活動が減少したことで大きく減少してきております。

	令和元年度	令和2年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	3,377 千円	<b>3,379 千円</b>	103.7%	100.0%
水道	369 千円	<b>297 千円</b>	86.8%	80.4%



## □令和2年度就労支援施設の就労金について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、就労活動も十分に活動できておりません。収入減も伴い1人当たりの工賃は減少しました。令和2年度より就労継続支援B型の基本報酬は、平均工賃より算定されるため、活動の充実を図り、ご利用者への工賃アップに取り組んでいかなければなりません。

○各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

		令和元年度		令和2年度		
		工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月	
今人	就労移行	422,568	15,092	—	—	
	就労継続B型	1,834,837	18,915	1,936,588	16,138	↓
	生活介護	2,626,694	12,568	2,251,086	10,719	↓
	計	4,884,099	14,623	4,187,674	12,690	↓
我楽	就労継続B型	3,199,062	19,870	3,181,449	22,405	↑
	生活介護	686,385	3,365	662,105	2,725	↓
	計	3,885,447	10,645	3,843,554	9,983	↓
すみれの里	就労継続B型	2,240,670	23,430	2,120,030	20,990	↓
	生活介護	729,540	2,643	662,105	2,725	↑
	計	2,970,210	7,963	2,767,680	8,516	↑
合 計		11,739,756	10,951	10,798,908	10,384	↓

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

		令和元年度	令和2年度	
今人	就労移行	26.6%	—	↓
	就労継続B型	59.7%	53.7%	↓
	生活介護	30.4%	34.1%	↑
	計	36.7%	41.0%	↑
我楽	就労継続B型	14.8%	18.3%	↑
	生活介護	1955.5%	2169.4%	↑
	計	18.0%	22.1%	↑
すみれの里	就労継続B型	18.7%	32.5%	↑
	生活介護	573.4%	445.0%	↓
	計	24.5%	41.5%	↑
合 計		27.7%	31.5%	↑

※就労収入には、内部売上を含む。

## □令和2年度固定資産の推移について

各設備が老朽化してきており、そのため、主に更新及びゆらくの里の改築工事費用が発生しました。今後、同様に老朽化に対する更新費用が発生することとなるため、毎年の積立を充実させ、急な運転資金の取り崩しがないように対応していかなければなりません。またコロナウイルス対策など多くの補助金を活用して資産の購入等も行いました。

### ◎取得一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
<b>《建物》</b>			
ゆらくの里食堂 天カセエアコン	1,166,000	ゆらくの里	
みのり1階北側居室 エアコン	594,000	ゆらくの里	
いぶき 女性職員トイレ改修工事	687,007	ゆらくの里	
栄養士室 トイレ改修工事	962,993	ゆらくの里	
ボノボ4階改修 内装工事修	4,947,162	地域	
ボノボ4階改修 照明設備	648,652	地域	
ボノボ4階改修 エアコン	395,538	地域	
ボノボ4階改修 電気工事	1,014,648	地域	
みのり2階 陰圧機	1,925,000	ゆらくの里	
みのり2階 扉上パネル設置	341,000	ゆらくの里	
のあ 自動火災報知機	825,000	地域	
<b>《器具備品》</b>			
ボノボ4階 電子黒板 MAXHUB	1,007,875	地域	
ゆらくの里 EMSパルスケア	550,000	ゆらくの里	
ゆらくの里 EMSパルストレーナー	220,000	ゆらくの里	
管理部 パソコン	141,680	ゆらくの里	
マッスルスーツ	134,640	ゆらくの里	
ロボットアシストウォーカー	116,820	ゆらくの里	
いぶきリネン室 乾燥機	1,465,750	ゆらくの里	
管理部 パソコン (surface) 3台	334,080	ゆらくの里	
ゆらくの里 パソコン (surface) 1台	111,360	ゆらくの里	
企画推進室 パソコン (surface) 2台	222,720	地域	
理事長ほか パソコン (surface) 2台	222,720	地域	
しえーく パソコン (surface) 1台	111,360	地域	
今人 パソコン (surface) 1台	111,360	地域	
<b>《建設仮勘定》</b>			
ゆらくの里 建設工事	175,529,030	ゆらくの里	○
計	193,786,395		

◎処分一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
建物本体ほか改築工事に伴う処分	8,971,154	ゆらくの里	
風鈴山荘 門扉	1,014,791	ゆらくの里	
リネン室ボイラー	1	ゆらくの里	
プレサージュ	1	ゆらくの里	
建物本体ほか改築工事に伴う処分	6	ゆらくの里	
計	9,985,953		

※同資産処分に伴い、国庫補助金等の取崩額は、3,936,255 円であります。

□令和 2 年度修繕費の推移について

1. 過去 3 年間の推移

設備の老朽化により小さな修繕ではなく、資産の更新を行う規模の修繕が増えたのか、修繕費支出は減少しております。

単位：円

拠点	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ゆらくの里	4,483,399	2,480,242	2,427,856
今人	219,538	671,900	608,711
地域	811,639	4,237,573	904,912
計	5,514,576	7,389,715	3,941,479

2. 修繕事業別内訳

ゆらくの里においては、漏水、リネン室、厨房など水に関係する修繕が増加しました。

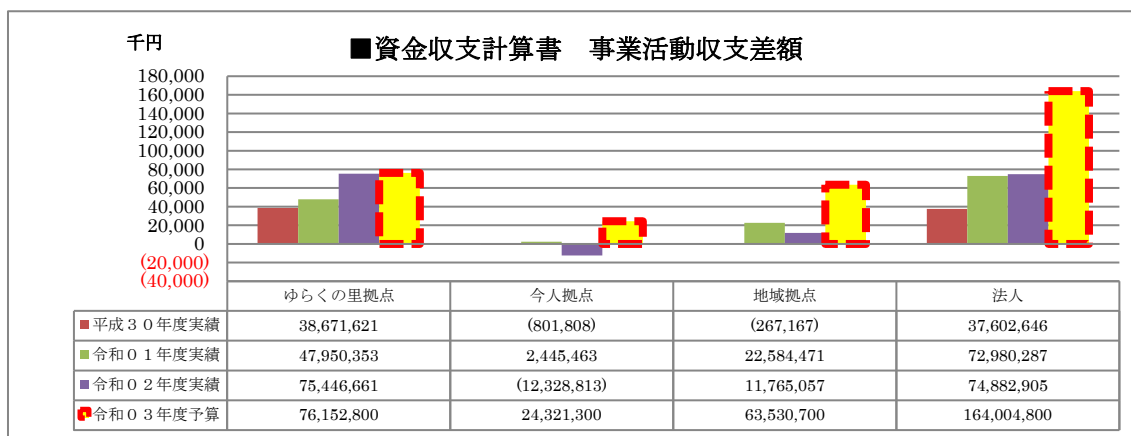
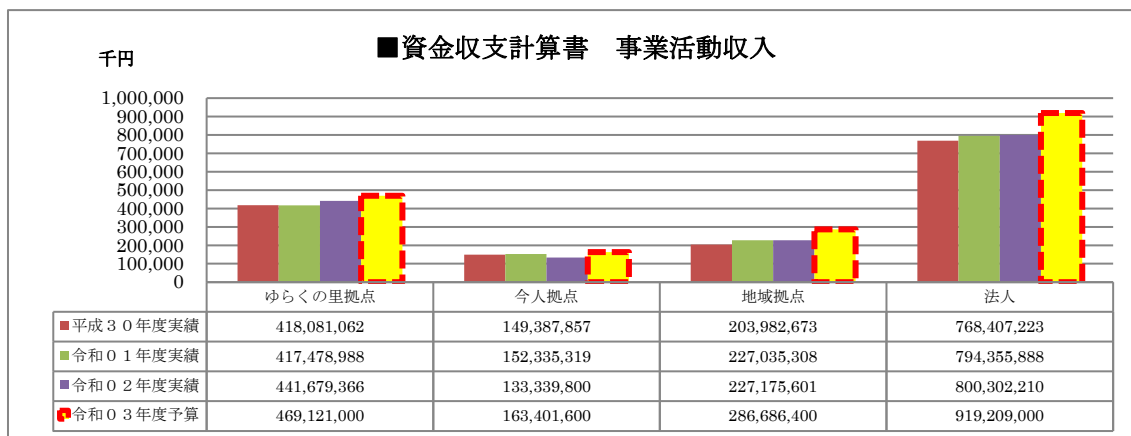
単位：円

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	1,166,077	501,160	14,850	1,682,087
ガラス	215,679	—	—	215,679
その他設備	1,046,100	10,065	585,912	1,642,077
製造原価	—	97,486	304,150	401,636
計	2,427,856	608,711	904,912	3,941,479

## □令和2年度 経営成績について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から6月にかけて提供できなかったサービス（短期入所、ヘルパー事業）があったこと、同理由により就労活動における飲食業において、年間を通じて顧客が大幅に減少したことにより、上期の実績より大きく下方修正せざるを得ませんでした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が終息することがなかったものの「コロナ禍において安心・安全に利用いただける事業運営」を行なってきたこと、定員に満たない事業のご利用者獲得や加算取得を可能にするための改善等を図り、事業活動収入は、令和3年1月～3月において、また事業活動収支差額においても3月の回復により、それぞれ年間で令和元年度を上回る結果を残すことができました。この改善は、同期間だけの見直しではなく、令和3年度の予算にも反映され、令和2年度の事業活動収支差額実績の2倍を超える164,004,800円を計画するだけの大きな改善を図りました。

この大きな改善により、令和2年度までに借入した返済資金としてのほか、将来の修繕や事業拡大計画のための積立の実施に充当するほか、ご利用者への活動の充実を図るとともに、それを支援する職員の処遇改善を図ることで、法人全体の成長を実行します。





## ○拠点別報告

### 1. 法人全体として

資金収支計算書において、事業活動収入は、前期比 100.7% (5,946,322 円増) の 800,302,210 円となりました。また事業活動支出は、前期比 100.5% (4,043,704 円増) の 725,419,305 円、結果、事業活動収支差額は、前期比 102.6% (1,902,618 円増) の 74,882,905 円と厳しい経営環境のもと増加することができました。

収入の内訳として、就労収入は、パンの製造販売（ふえりーちえ）をはじめ飲食業すべてで大幅な減収となりました。一方、福祉収入は、ご利用者の獲得、加算等算定による改善、コロナ関係の助成金取得などにより前期比 102.2% (19,015,987 円増) を上回りました。

費用は、就労収入の減少に伴う就労支援事業支出の減少のほか事業費も大幅に減少しましたが、人件費は通所事業における職員の増加及び特定処遇改善加算の創設により増加したことで、事業活動支出全体も増加となりました。

#### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
事業活動収入	794,355,888	800,302,210	5,946,322
事業活動支出	721,375,601	725,419,305	4,043,704
事業活動収支差額	72,980,287	74,882,905	1,902,618

#### 《事業活動収入》

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
就労事業収入	44,336,534	32,173,101	▲12,163,433
福祉サービス収入	740,144,975	759,160,962	19,015,987
その他	9,874,379	8,968,147	▲906,232
計	794,355,888	800,302,210	5,946,322

#### 《事業活動支出》

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
人件費	525,252,113	542,188,963	16,936,850
事業費	93,707,929	87,764,642	▲5,943,287
事務費	51,505,038	54,134,583	2,629,545
就労支援事業支出	44,249,400	36,996,806	▲7,252,594
その他	6,661,121	4,334,311	▲2,326,810
計	721,375,601	725,419,305	4,043,704

## 2. ゆらくの里拠点

### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
事業活動収入	417,478,988	441,679,366	24,200,378
事業活動支出	369,528,635	366,232,705	▲3,295,930
事業活動収支差額	47,950,353	75,446,661	27,496,308

### 《事業活動収入》

事業活動収入は、前期比 105.7% (24,200,378 円増) の 441,679,366 円となりました。多くの増加要因は、新型コロナウイルス感染症により、4月から6月にかけて通所事業所を利用されずにゆらくの里の生活介護事業を利用せざるを得なかったことでの増加であります。

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
就労事業収入	—	—	—
福祉サービス	409,399,075	435,352,779	25,953,704
その他	8,079,913	6,326,587	▲1,753,326
計	417,478,988	441,679,366	24,200,378

### 《事業活動支出》

事業活動支出は、前期比 99.1% (3,295,930 円減) の 366,232,705 円となりました。事務費を除き各費用は無駄を省き減少することができました。なお事務費の増加は、新型コロナウイルス感染症対策助成金における消耗品及び備品の購入による増加であります。

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
人件費	277,083,318	274,917,452	▲2,165,866
事業費	62,808,168	60,980,447	▲1,827,721
事務費	24,103,565	26,660,014	2,556,449
就労支援事業支出	—	—	—
その他	5,533,584	3,674,792	▲1,858,792
計	369,528,635	366,232,705	▲3,295,930

### 3. 今人拠点

#### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
事業活動収入	152,335,319	133,339,800	▲18,995,519
事業活動支出	149,889,856	145,668,613	▲4,221,243
事業活動収支差額	2,445,463	▲12,328,813	▲14,774,276

#### 《事業活動収入》

事業活動収入は、前期比 87.5%（18,995,519 円減）の 133,339,800 円となりました。就労事業収入は、新型コロナウイルス感染症の影響による飲食業（ふえりーちえ及びそら）の売上の減少、福祉サービスの減少は、ゆらくの里のご利用者の地域事業の利用制限期間があったため、大幅な収入減となりました。

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
就労事業収入	25,344,564	16,695,793	▲8,648,771
福祉サービス	126,253,066	115,661,105	▲10,591,961
その他	737,689	982,902	245,213
計	152,335,319	133,339,800	▲18,995,519

#### 《事業活動支出》

事業活動支出は、前期比 97.1%（4,221,243 円減）の 145,668,613 円と減少しました。パート職員雇用増による人件費の増加があるものの、就労収入の減少による就労支援事業支出の大幅な減少が大きな要因となりました。

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
人件費	102,206,434	103,557,542	1,351,108
事業費	11,683,812	10,808,683	▲875,129
事務費	11,188,104	10,923,092	▲265,012
就労支援事業支出	24,440,616	20,063,450	▲4,377,166
その他	370,890	315,846	▲55,044
計	149,889,856	145,668,613	▲4,221,243

#### 4. 地域拠点

##### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
事業活動収入	227,035,308	227,175,601	140,293
事業活動支出	204,450,837	215,410,544	10,959,707
事業活動収支差額	22,584,471	11,765,057	▲10,819,414

##### 《事業活動収入》

事業活動収入は、前期比 100.0%（140,293 円増）の 227,175,601 円とほぼ横ばいとなりました。就労収入は、今人拠点同様、新型コロナウイルス感染症の影響による飲食業（カフェ及びクッキー工房）の収入減が大きく影響しました。また福祉サービス収入については、相談支援事業（しえーく）の 1 名増員における相談実施数の増加、ヘルパー事業の実施改革における大幅な増収により増加しました。

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
就労事業収入	21,485,697	17,291,015	▲4,194,682
福祉サービス	204,492,834	208,147,078	3,654,244
その他	1,056,777	1,737,508	680,731
計	227,035,308	227,175,601	140,293

##### 《事業活動支出》

事業活動支出は、前期比 104.3%（10,959,707 円増）の 215,410,544 円となりました。事業費、就労支援事業支出など大幅に減少した一方で、我楽の正職員が減少をしたものの、相談支援事業（しえーく）の人員増をはじめ、各パート職員の増加により人件費が大幅に増加したことが事業活動支出増の要因となりました。

単位：円

	R01 年度	R02 年度	増減
人件費	145,962,361	163,713,969	17,751,608
事業費	20,655,879	16,589,692	▲4,066,187
事務費	17,076,142	17,437,694	361,552
就労支援事業支出	19,999,808	17,325,516	▲2,674,292
その他	756,647	343,673	▲412,974
計	204,450,837	215,410,544	10,959,707

## 5. 就労事業活動

### 《活動別収入》

就労事業において、10の活動を提供しておりますが、前年度比較で収入増となった事業は3事業（今人の掃除及び内職とすみれの里の内職）のみであります。飲食業を除く各活動の増減は金額的にあまり大きくはありませんが、活動内容の見直しを図らなければ、大きく良くなることも悪くなることもない状況となっております。一方、飲食業の各活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により外食控えなどから令和30年度の減少より更に減少することとなりました。またふれあいキッチンSORAは、香芝市総合福祉センターの改修につき、実施場所の移転（ふたかみ文化センター2階）により、集客が良くないことも要因となっております。

単位：円

活動名		R01 年度	R02 年度	増減	
今人	ふえりーちえ（パン）	10,585,672	7,442,502	▲3,143,170	70.3%
	そうじや（掃除）	2,388,210	2,423,143	34,933	101.4%
	内職	298,572	332,246	33,674	111.2%
	計	13,272,454	10,197,891	▲3,074,563	76.8%
我楽	菓子	8,610,138	6,665,043	▲1,945,095	77.4%
	カフェ	12,911,169	10,638,196	▲2,272,973	89.9%
	内職	35,099	30,520	▲4,579	82.3%
	計	21,556,406	17,333,759	▲4,222,647	80.4%
すみれ	BDF	414,069	395,757	▲18,312	95.5%
	畑	164,882	74,850	▲90,032	45.3%
	内職	12,736	160,140	147,404	1257.3%
	レストラン	11,363,199	6,036,498	▲5,326,701	53.1%
	計	11,954,886	6,667,245	▲5,287,641	55.7%
合計		46,783,746	34,198,895	▲12,584,851	73.0%

※内部売上を含む。

### 《活動別収支》

収支については、これまで継続して黒字運営をしていたパン製造販売事業（ふえりーちえ）が赤字化になったこと、レストラン業（ふれあいキッチンSORA）の大幅な赤字など、新型コロナウイルス感染症が大きく影響して赤字幅が増加しました。なお、令和2年度は、収支が赤字であっても工賃支給は、福祉収入を活用して支払うことができる事となり、例年通り支給しております。

単位：円

活動名		売上	経費	利益	利益率
今人	ふえりーちえ（パン）	7,442,502	7,853,186	▲410,684	—
	そうじや（掃除）	2,423,143	2,319,721	103,422	4.2%
	内職	332,246	555,792	▲223,546	—
	計	10,197,890	10,728,699	▲530,809	—
我楽	菓子	6,665,043	7,042,562	▲377,519	—
	カフェ	10,638,196	10,136,084	502,112	4.7%
	内職	30,520	662,105	▲631,585	—
	計	17,333,759	17,840,751	▲506,992	—

活動名		売上	経費	利益	利益率
すみれ	BDF	395,757	1,244,906	▲849,149	—
	畑	74,850	63,103	11,747	15.6%
	内職	160,140	756,558	▲596,418	—
	レストラン	6,036,498	8,329,952	▲2,293,454	—
	計	6,667,245	10,394,519	▲3,727,274	—
合計		34,198,894	38,963,969	▲4,765,075	—

### 《活動経費（原価）率》

材料費、労務費、経費それぞれの金額は、収入減に伴い減少しましたが、収入減の割合だけ費用が減少しておらず、それぞれの対収入割合は、すべてで増加した結果となりました。

単位：円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ (パン)	2,272,754	30.5	2,231,781	29.9	3,348,651	44.9	7,853,186
	そうじや(掃除)	—	—	1,640,689	67.7	679,032	28.0	2,319,721
	内職	—	—	315,204	94.8	240,588	72.4	555,792
	計	2,272,754	22.2	4,187,674	41.0	4,268,271	41.8	10,728,699
我楽	菓子	1,938,115	29.0	1,931,642	28.9	3,172,805	47.6	7,042,562
	カフェ	5,151,900	48.4	1,249,807	11.7	3,734,377	35.1	10,136,084
	内職	—	—	662,105	2169.4	—	—	662,105
	計	7,090,015	40.9	3,843,554	22.1	6,907,182	39.8	17,840,751
すみれ	BDF	12,245	3.0	77,540	19.5	1,155,121	291.8	1,244,906
	畑	19,176	25.6	380	0.5	43,547	58.1	63,103
	内職	—	—	756,140	472.1	418	0.2	756,558
	レストラン	2,869,372	47.5	1,933,620	32.0	3,526,960	58.4	8,329,952
	計	2,900,793	43.5	2,767,680	41.5	4,726,046	70.8	10,394,519
合計		12,263,562	35.8	10,798,908	31.5	15,901,499	46.4	38,963,969

※外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

※割合は、対売上高比率

#### ◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふえり～ちえ〕

ふえり～ちえの主なパンの販売形態は移動による対面販売であります。新型コロナウイルス感染防止のため、訪問販売していたところから販売活動の自粛を求められました。しかしながら、受注販売を提案させていただくなど、販売方法を工夫して活動を継続してきました。活動は感染予防対策を実施したうえで、売上の回復につながる新たな販売先の開拓も実施しております。また新型コロナウイルス感染拡大状況を確認しながらも新しい生活様式に対応した形での販売を継続していく予定であります。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そーじや〕

現在の委託清掃と民間駐車場や一軒家の除草作業、不定期ではありますが、新たに近隣企業の広告チラシ折りとポスティング作業の仕事を請け負うなどして、工賃を得る仕組み作りを行ってきました。令和3年度については、不定期で行なっていた臨時業務を固定の委託業務として確立できるように実践を通じて調整を図ります。

◆内職班〔今人：生活介護事業〕

令和2年度の目標として、内職は「今人全体の活動」と位置づけ、ふえり～ちえやそーじやのご利用者の活動としても実施するなどの対応を行ないました。また法人全体の取り組みである農福活動にも不定期ではありますが、活動に参加しながら内職作業だけに留まらず、ご利用者が興味ややりがいをもって取り組める新たな活動を模索することを継続していきます。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

令和2年8月にパティシエが退職となり、9月からは正規職員1名にパート職員という体制で活動を実施。パティシエ経験のあるパート職員2名の力を借りながら、ご利用者主体で製造できる商品を中心に販売していくように方針を変更しました。秋には食品アレルギーに対応したケーキの開発を行い、香芝市内保育所からのクリスマスケーキの受注を頂くことができるなど結果に繋がっております。ご利用者には力を最大限に発揮していただけるよう支援し、スタッフとともに商品を製造することで自己有用感を感じながら働くことができるように体制を整えております。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

令和2年度の年度初めから、新型コロナウイルス感染予防対策を講じ活動を実施おりました。カフェへの客足は遠退き、売上にも影響がございましたが、宣伝活動が爽り、徐々にではありますがお客様も戻って来られています。

カフェで就労しているご利用者や職員、そしてお客様に安心、安全にご利用いただけますよう、安全対策を講じて営業しております。

◆レストラン事業〔すみれの里：B型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

令和2年度はコロナ禍により、レストランの集客が難しくなったため、配達弁当に力を入れ、市役所、警察署、学校等に対して営業を行ない、注文していただいております。その中で香芝市からの提案を受け、長期休み期間中に学童保育を利用する児童向けのお弁当の販売も実施しております。学童保育を利用する保護者からは「毎日のお弁当作りが大変だったのでとても助かる」とのここの声をいただくなど好評で売上向上にもつながりました。

令和2年10月には、香芝市総合福祉センターの改修工事により店舗スペースが使用できなくなるため、香芝市がふたかみ文化センターで募集していたチャレンジショップ事業を活用して、改修工事が始まると同時に店舗を移し、レストラン事業・弁当受注販売事業を継続して実施することが出来ております。

◆モンステラファーム〔すみれの里：就労継続支援B型事業〕

畑内の除草、石拾い、水やり、収穫作業、出荷作業などの活動でご利用者ができる場所を職員と一緒に行動を実施しました。ご利用者の年齢や体力面から年々参加できる活動も少なくなって来ておりますが、できる作業を前向きに取り組んでもらっております。野菜販売については、コロナや福祉センターの改修工事により、販売先を変えるなど対策も実施しましたが、昨年度よりも売上が大きく減少してしまう結果となってしまいました。

令和3年度は、ご利用者への活動提供としての目的意識を持ちつつ作業を見直し、法人の農福連携活動への協力も行いながら、活動の充実を図ります。

◆環境班〔すみれの里：就労継続支援B型事業〕

香芝市が設置している廃油収集場所や市内の小中学校・保育所の給食事業で出る廃油の回収売却を継続して実施しております。香芝市との連携活動でもあり、ご利用者への活動提供は継続して行なっております。

令和3年度は活用できていないバイオ燃料精製設備の廃棄ならびに同設置スペースの使用用途についての検討実施を図ります。

◆内職班〔すみれの里：生活介護事業〕

就労ではなく機能訓練の一つとしての活動であり、目的意識をもって取り組んでおります。ご利用者はそれぞれのペースで協力しながらみんなで役割分担をされ、意欲的に取り組まれております。令和2年度は活動の傍ら、ドライブも兼ねて農福連携の畑にも行くなど、農業活動への参加も行いました。

※各活動は、就労収入でご利用者の工賃の支払いに繋ぐことが必要であります。赤字活動で工賃の支払いが出来ていないのであれば、黒字化する工夫が必要でありますし、原点として、各活動におけるご利用者の方の「仕事」の提供が適正であるかを再度見直していかなければなりません。



## □資金残高について

### ◆資金（預金残高）の推移について

#### 1. ゆらくの里拠点・地域拠点

単位：円

	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	令和 2 年 3 月 31 日	令和 3 年 3 月 31 日
実残高	151,377,738	181,944,978	171,136,846	182,104,118	91,793,519
積立	85,500,000	97,900,000	114,030,000	110,298,000	79,700,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上 現預金残	65,877,738	84,044,978	57,106,846	71,806,118	12,093,519
前期 比較	↑ 32,137,246	↑ 30,567,240	↓ 10,808,132	↑ 10,967,272	↓ 90,310,599

※前期比較は、預金実残高で比較

#### 2. 今人拠点

単位：円

	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	令和 2 年 3 月 31 日	令和 3 年 3 月 31 日
実残	37,954,166	52,781,383	54,159,856	55,755,968	47,323,901
積立	16,040,000	24,940,000	25,940,000	26,740,000	26,740,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上 現預金残	21,914,166	27,841,383	28,219,856	29,015,968	20,583,901
前期 比較	↑ 11,511,757	↑ 14,827,217	↑ 1,378,473	↑ 1,596,112	↓ 8,432,067

※各事業の収支増に伴い、法人全体の指標より良いと思われる。

### ◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

単位：円

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	57,000,000	13,000,000	20,800,000	90,800,000
工賃変動積立金	—	1,495,000	400,000	1,895,000
設備等整備積立金	—	12,245,000	1,500,000	13,745,000
計	57,000,000	26,740,000	22,700,000	106,440,000

## □令和2年度研修等報告

### 1. ゆらくの里

#### ○ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 25日	アグリチャレンジ研修 なら食の魅力創造国際大学 《～12/3 全40回》	桜井市	大谷
7月 7日	施設見学	ならやま会	黒松
7月 31日	施設見学	ポエム	岡、黒松 原田
8月 26日	施設見学	あゆみの会 ならやま会 パレット 青葉仁会 クラムボン	岡、竹内 黒松、通阪
9月 3日	奈良県社会福祉施設における新型コロナ ウイルス感染症対応訓練 奈良県福祉医療部障害福祉課	桜井市立図書館	岡、通阪
9月 4日	狩猟免許促進講習 なら食の魅力創造国際大学	桜井市	大谷
10月 27日	施設見学	社会福祉法人心境荘 園	黒松、楳田
11月 18日	施設見学	社会福祉法人北摂杉 の子会 ジョブサイトひろむ	疋田
12月 22日	苦情解決研修会 奈良県	Web	中島
2月 12日	令和2年度奈良県障害者虐待防止・ 権利擁護研修 奈良県	奈良県文化会館	服部、濱崎
3月 15日	令和2年度奈良県障害者虐待防止・ 権利擁護研修 奈良県	奈良県文化会館	中島
3月 18日	施設見学	社会福祉法人 ライフ ネット 障害者支援施設そよ かぜ	中島、黒松

## 2. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月21日 9月4日 9月24日 9月25日	キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) 奈良県社会福祉協議会	奈良県社会福祉総合 センター	西川
9月4日	健康づくり教室(全5回) 学校法人玉手山学園	関西福祉科学大学	大藪
9月15日	施設見学	社会福祉法人青葉仁 会 デリカテッセン イーハトーブ等	森田
10月7日	健康づくり教室 「身体活動量を増やして生活習慣病 を防止」 学校法人玉手山学園	関西福祉科学大学	大藪
11月4日 11月5日 12月9日	キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース) 奈良県社会福祉協議会	奈良県産業会館	森田
12月2日	健康づくり教室 「ピラティスを取り入れた体操」 学校法人玉手山学園	関西福祉科学大学	大藪
2月3日	健康づくり教室 「リハビリ要素を取り入れたダンス で認知機能予防・転倒予防」 学校法人玉手山学園	関西福祉科学大学	大藪
3月3日	健康づくり教室 「筋トレでサルコペニアを予防」 学校法人玉手山学園	関西福祉科学大学	大藪
3月5日	事業力強化セミナー NPO法人奈良県社会就労事業 振興センター	奈良県社会福祉総合 センター	大森、北井

## 3. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月1日	令和2年度奈良県障害支援区分認定 調査員研修 奈良県福祉医療部障害福祉課	奈良県社会福祉総合 センター	竹内

## 4. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月29日	てんかん基礎講座 日本てんかん協会	大阪商工会議所	堺井

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月14日	発達障害児者のおとなへの一歩を支援するために ～TTAPを用いたアセスメントから支援へ～ 奈良県発達障害者支援センター であ～	奈良公園バスターミ ナルレクチャーホー ル	浦田、堺井 今仲
1月30日	福祉職のための発達障害アセスメン ト入門 奈良県発達障害者支援センター であ～	奈良公園バスターミ ナルレクチャーホー ル	的場、今仲

#### 5. 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月12日	食品衛生責任者養成講習 奈良県食品衛生協会	生駒セイセイビル	福本

#### 6. 事業企画推進室

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月26日	マイナビWEBセミナー（学生の就職活動の動向、採用状況等） （株）マイナビ	Web	中山、西原
8月4日	安全運転管理者講習 奈良県安全運転管理者協会	香芝市ふたかみ文化 センター	西原
9月8日 11日	第1・2回採用力強化セミナー 奈良労働局委託「若年者地域連携 事業」事務局	Web	中山・西原
10月5日 7日	第3・4回採用力強化セミナー 奈良労働局委託「若年者地域連携 事業」事務局	Web	中山・西原
12月22日	苦情解決研修 奈良県運営適正化委員会 奈良県社会福祉協議会	Web	中山
1月19日	奈良県社会福祉法人経営セミナー 「ICT機器導入の視点を学ぶ ～生産性の向上を目指して～」 奈良県社会福祉法人経営者協議会 奈良県社会福祉協議会	Web	西原
1月28日	新卒採用支援セミナー （株）マイナビ	Web	中山・西原

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
2月 18日	マイナビ活用ミニセミナー &チャット情報交換会 (株)マイナビ	Web	西原
3月 4日	日本知的障害者福祉協会 部会協議会 日本知的障害者福祉協会	Web	中山
3月 23日	全国経営協ブランディング&PRセミナー 全国社会福祉法人経営者協議会	Web	西原

